

令和5年度 パブリック・コメント手続 実施結果票

計画・条例等名称	本渡港周辺環境整備事業
実施期間	令和6年2月20日から令和6年3月20日まで
担当部署	総合政策部政策企画課行財政改革推進係
連絡先	TEL 0969-27-5052
	FAX 0969-24-3501
	E-mail kikaku@city.amakusa.lg.jp

結果の概要	
意見者数	2人
意見の件数	8件
反映件数	0件

NO	該当箇所	意見の概要	市の考え方	取扱い
1	36ページ 計画エリアに求められる機能 【①交流・交通拠点】	市街地循環バスは他のバス路線との接続がきわめて悪い。本渡港を第二の交通拠点とするためには、多少遠回りでも全てのバスを同港経由にするべきではないか。 また同港以外にも天草エアライン、快速あまくさ号利用者の利便性向上のため、パーク&ライド拠点の駐車場を整備すべきではないか。	本渡市街地循環バス「のってみゆうカー」は、天草市内各地を運行している路線バスと接続するため、本渡バスセンターを発着として運行しております。また、本渡港行は、本渡港に接続している定期船の運航時刻に合わせた時刻設定となっています。 本計画では、計画エリア内に交流・交通拠点として、ターミナル(交通結節)機能が必要不可欠であると考えておりますが、本渡市街地については、循環バスのみならず、自転車等の移動や街中を歩いて巡るというコンセプトも持っており、さらには、航路・他の交通機関等との接続による利便性向上も目指しているところですが、 今回いただきましたご意見は、今後本渡港整備を進める上で参考にさせていただきます。 なお、本渡港以外のご意見につきましては、公共交通部門に共有をさせていただきます。	参考

NO	該当箇所	意見の概要	市の考え方	取扱い
2	36ページ 計画エリアに求められる機能 【①交流・交通拠点】	第二瀬戸大橋ができたとはいえ、大矢野地区がボトルネックとなり渋滞が発生している。 現在運行を休止している天草宝島ラインに、盆や年末年始、連休といった多忙期だけでも同港への延伸を要望できないものか。 また業者任せではなく、広報誌でも宣伝すべきではないか。	天草宝島ラインは、平成21年4月、本渡港～松島(前島)港～三角港間に就航しましたが、十年後の平成31年1月より、本渡港～松島(前島)港間が休止となっております。 本計画の課題にも記載しているとおり、本渡港は定期航路の休廃止や御所浦地域の人口減少により利用者数が減少している状況であります。本渡港エリアを整備することにより賑わい創出や魅力向上を図り、本渡港を起点とする民間事業者が参入してくることを期待しております。 なお、今回のご意見(要望)につきましては、公共交通部門に共有をさせていただきます。	参考
3	33ページ	港からつなぐウォーキング鉄道 ・「みんなの驛」の発想、理念を知っていただくには、鉄道のイメージ、デザインも有効なのかなと感じます。三角駅からのつなぎを感じる、今の本渡港駅の看板も活かして、歩いて巡るまちづくりに考えたのは「ウォーキング鉄道」です。歩くことが楽しくなるように線路を歩道に書いて、ライトレールのように本渡南地区を巡る仕掛けをします。その沿線に、親水、連絡橋、商店街巡りがあつたらと思います。	今回のご意見につきましては、今後本渡港整備を進める上で参考にさせていただきます。	参考
4	36ページ 計画エリアに求められる機能 【①交流・交通拠点】	日本の宝島から世界の宝島へ ・天草も現状では自家用車中心の社会ですから、海と陸の交通結節は通常は御所浦航路以外は必要感が低いので、観光面での仕掛けが必要です。今年崎津集落に寄港するクルーズ船のように、外国船の誘致、それをイルカウォッチングや恐竜博物館、崎津集落、夕日などに導くミニクルーズ船が欲しいです。	本計画では、交通・交流拠点の整備の基本方針として、整備にあたり公民連携による拠点整備を基本とし、市で確保しているエリアにおいて事業主体者を民間から公募することとしております。今回のご意見につきましては、公募のための条件等調整の参考にさせていただきます。	参考

NO	該当箇所	意見の概要	市の考え方	取扱い
5	36ページ 計画エリアに求められる機能 【①交流・交通拠点】	「新しいモノを生み出す場所」人材育成、観光、交流の拠点クウォリティを高める観光学部 ・天草大学の話題がありますが、〇〇大学観光学部などが、本渡港にできたら、天草のいろんな研究、実践、情報発信、人的交流の拠点になり、平常時でも活気や賑わいを創ることができるのではないのでしょうか。	本渡港は、3本の二級河川が流れ込み、本渡瀬戸航路をはさみ瀬戸地域まで干潟が形成されています。本計画では、干潟に生息する生き物や野鳥等、本渡港一帯が観察地として市民や来訪者に身近に海を親しむことができる親水エリアのほか、雲仙天草国立公園に指定されている自然環境などを学習する拠点整備を計画しております。今回のご意見(大学誘致、設置)は拠点整備を進める上で参考とさせていただきます。	参考
6	36ページ 計画エリアに求められる機能 【①交流・交通拠点】	モニュメントの作成、他施策との連携 天草のイベント力を活かす ・天草陶磁器展、天草マラソン、祭りなど、多くの来訪者があ るイベントのよさを、平常時でも体験できるような天草陶磁 器センターのような施設、マラソン練習コース、サイクリング の拠点になるような施設やコースの整備もできればと思いま す。 ITによる地域づくり ・やはり、シンボルになるようなものは欲しいです。他に類を 見ないオリジナルな内容があって、全国からも人が来るだろ うし、市民にとっても誇りになります。デジタルアート、アニメ の島づくりが進められていますが、是非、それを港の環境整 備とコラボして、見える化してほしいです。 未来大橋をシンボルに ・未来大橋がすぐそばにあるので、橋のプロジェクトマッピ ングやライトアップ、海を活かしたメタバースやARなどいろん なIT技術を活かした取組ができると思います。港の環境整備 もアナログとデジタルを融合した広場を考えてほしいです。	本計画では、交通・交流拠点の整備の基本方針として、整備にあたり公民連携による拠点整備を基本とし、市で確保しているエリアにおいて事業主体者を民間から公募することとしております。今回のご意見につきましては、公募のための条件等調整の参考にさせていただきます。	参考

NO	該当箇所	意見の概要	市の考え方	取扱い
7	36ページ 計画エリアに求められる機能 【①交流・交通拠点】	人々を癒し、食事や物販の提供場所 天草海辺広場 ・イベント広場、マルシェ、キッチンカーの駐車場など、天草で賑わいを感じる場所になるように、ネーミングから考えたらと思います。そして漁協とも連携した、天草の地形を活かした豊富な種類のおいしい魚を食べる、買う、料理するような場所があると、お魚祭りのように観光客にも人気の場所になります。「〇〇広場に行ったら、売れる」と、市内の事業者の方に思っただけの広場にしたいものです。	本計画では、交通・交流拠点の整備の基本方針として、整備にあたり公民連携による拠点整備を基本とし、市で確保しているエリアにおいて事業主体者を民間から公募することとしております。今回のご意見につきましては、公募のための条件等調整の参考にさせていただきます。	参考
8	37ページ 計画エリアに求められる機能 【③防災拠点】	空から見る天草 ・能登半島地震では陸路の遮断が課題になりました。天草でもそれは十分考慮すべきことです。その時、海からの結節はとても重要で、本渡港広場は命を守る場所にもなります。同時にヘリポートなども設置しておきたいです。平常時には、以前天草ジオパークで、「海の博物館」と言われた天草を、空から観光できるような施設もあればと考えます。ドローンでできる観光もあります。	天草は、橋が寸断されることで、島外への移動のみならず物資等も輸送も陸上ではできません。このようなことから、本計画では、災害時等の緊急物資の受け入れ港として、防災岸壁の整備を行い、港湾施設の保全とともに防災機能の向上を図ることとしております。 ヘリポートの設置については、別途基準等がありますので、担当部署と共有をまいります。 ドローンや空からの観光につきましても、担当部署に共有をさせていただきます。	参考